

2026年6月17日

各位

東北労働金庫

通常総会のご案内と決算概況等のお知らせ

東北労働金庫（本店 仙台市 理事長 伊藤 啓志）の第23回通常総会についてご案内申し上げます。また、2025年度決算の概況等についてお知らせいたします。

記

1. 第23回 通常総会

- (1) 日時 2026年6月25日（木）午後1時より
 (2) 場所 江陽グランドホテル
 〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目3番1号（TEL：022-267-5111）

2. 2025年度決算（2026年3月期）の概況

(1) 預金及び貸出金の状況 (単位：億円、%)

項目	2026年3月末	2025年3月末	増加額	増加率
預金残高	22,417	22,733	△315	△1.3
貸出金残高	14,867	14,532	334	2.3

(注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

- ① 預金残高は、定期性預金の減少により2兆2,417億円（譲渡性預金含む）、前年度比315億円（△1.3%）の減少となりました。
 ② 貸出金残高は、住宅ローンやマイカーローン等の増加により1兆4,867億円、前年度比334億円（+2.3%）の増加となりました。

(2) 損益の状況 (単位：百万円、%)

項目	2026年3月末	2025年3月末	増減額	増減率
経常収益	35,434	30,125	5,308	17.6
資金運用収益	29,524	26,130	3,394	12.9
役務取引等収益	1,255	1,251	3	0.2
その他業務収益	2,944	2,699	244	9.0
その他経常収益	1,710	43	1,666	3,806.9
経常費用	32,714	26,255	6,458	24.5
資金調達費用	4,905	1,690	3,214	190.1
役務取引等費用	5,225	4,933	291	5.9
その他業務費用	5,599	3,091	2,508	81.1
経費	16,660	16,330	330	2.0
その他経常費用	324	210	113	54.1
経常利益	2,719	3,869	△1,149	△29.7
業務純益	1,135	3,878	△2,743	△70.7
コア業務純益	4,963	5,290	△327	△6.1%
特別利益	9	9	0	3.3
特別損失	225	38	186	484.5
当期純利益	1,869	2,930	△1,061	△36.2

(注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

経常収益が資金運用収益や株式等売却益で増収となった一方、預金利息や国債等債券売却損により経常費用が増加したことから、経常利益は減益となりました。

- ① 経常収益は354億34百万円、前年度比53億8百万円の増収となりました。利上げの影響等により貸出金利息が前年度比17億34百万円、預け金利息が前年度比14億2百万円、投資時期の前倒し等により有価証券利息配当金が前年度比で2億30百万円、それぞれ増加したことにより資金運用収益は増加しました。また、国債等債券売却益に加え、前年度計上のなかった株式等売却益を16億32百万円計上したこと等も増収の要因となっています。
- ② 経常費用は327億14百万円、前年度比64億58百万円の増加となりました。利上げの影響等により預金利息が32億14百万円増加したことや、システム関連費の上昇や賃上げ等の影響により経費が前年度比で3億30百万円増加したこと、将来のリスク低減等を目的とした有価証券売却を行った結果、国債等債券売却損が前年度比25億8百万円増加したこと等も要因となっています。
- ③ 経常利益は27億19百万円、前年度比11億49百万円の減益となり、結果、「増収減益」となりました。業務純益は11億35百万円(前年度比△27億43百万円)、当期純利益は18億69百万円(前年度比△10億61百万円)となりました。なお、国債等債券売却損益を除くコア業務純益は49億63百万円となりました。

- (3) 労働金庫法に基づく開示債権及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく開示債権
(単位：百万円、%)

項目	2026年3月末	2025年3月末	増減
破産更生等債権	5,690	5,757	△ 67
危険債権	7,054	7,197	△ 143
要管理債権	31	94	△ 63
うち三月以上延滞債権	31	94	△ 63
うち条件緩和債権	-	-	-
不良債権計	12,775	13,048	△ 272
正常債権	1,475,176	1,441,293	33,883
合計	1,487,951	1,454,341	33,610
(不良債権比率)	0.86	0.90	△ 0.04

(注) 単位未満の端数は四捨五入して表示しています。数値は円単位で算出のため合計金額とは一致しません。

- (4) 自己資本比率

2026年3月期の自己資本比率は、9.86%となりました。自己資本の額は1,160億74百万円と13億57百万円増加しましたが、貸出金や有価証券が増えたことで、分母となるリスク・アセットが増加したため、自己資本比率は前年度比0.15%ポイント低下しました。

3. 2026年度の事業計画（預貸・収支の計数計画）

- (1) 年度末の総預金残高 2兆2,467億円(増加額50億円、増加率0.2%)
- (2) 年度末の総貸出金残高 1兆5,117億円(増加額250億円、増加率1.6%)
- (3) 経常利益 28億60百万円
- (4) 業務純益 27億65百万円
- (5) 当期純利益 20億30百万円

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

- | | | | |
|----------------|-------------|---------|------------------|
| ・総会、事業計画に関する事項 | 東北労働金庫総合企画部 | (武田・小西) | TEL 022-227-1356 |
| ・決算に関する事項 | 東北労働金庫経営管理部 | (縄野・寺崎) | TEL 022-723-1114 |